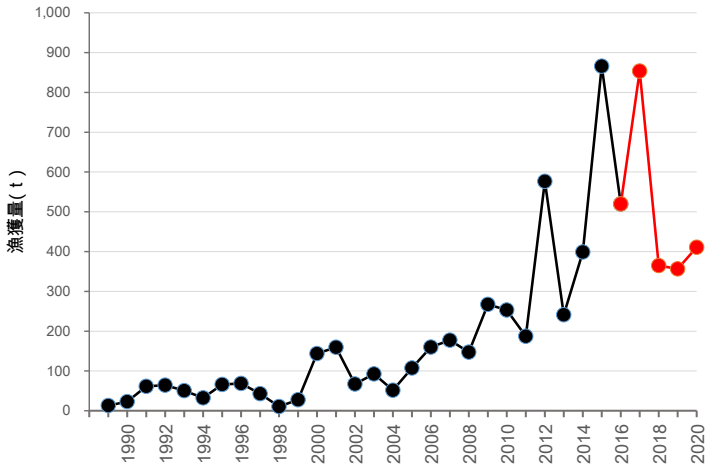
ブリ

令和2年12月

資源の動向 「高位・減少」



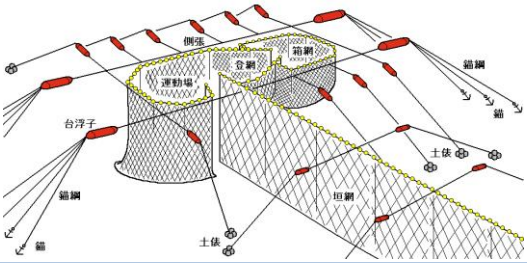
相模湾のブリ類漁獲量の経年変化
（定置網：1989～2020）

相模湾のブリ漁獲量は2017年から大きく減少し、2018年からは400トン前後で推移している。これは日本周辺のブリ資源が高位であるものの、減少傾向であることに起因すると考えられる。相模湾での直近5年の傾向は「高位・減少」である。

対象漁業

〇定置網

定置網の構造と各部の名称



生物学的特性

〇分布：日本の沿岸全域に分布

〇移動：2歳未満の未成魚は地先に滞在し、2歳以上となった成魚の多くが東シナ海の産卵場まで南下回遊を行う。産卵を終えた成魚は索餌のため北上回遊を行う。

〇成長：尾叉長は1歳で40cm以上、2歳で60cm前後。産卵可能年齢は2歳以上とされ、寿命は7歳前後。出世魚として知られ、モジャコ→ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリと呼び名が変わる。

〇産卵期等：東シナ海で2-3月、九州近海で4-5月